

PDCAチェックシート

実施年度	令和 7 年度			
事務事業名	地域介護予防活動支援事業(地域ふれあい教室)		担当課名	長寿保健課
【Plan】計画		【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善
■目的 高齢になっても住み慣れた地域でいつまでも健康でいきいきと生活できるよう、より身近な地域拠点での介護予防の取り組みを行い、一人でも多くの方が参加することを目的とする。 ■成果指標(アウトカム・KPI) ※ 【目標値】 ○地域ふれあい教室の参加者数: 延べ6,700人 【達成値(R7実績値)】 ○地域ふれあい教室の参加者数: 延べ6,547人		■具体的取組 地域ふれあい教室事業を出前講座、サロン事業、憩いの場、関係団体等に周知した。 ○周知PR方法 ・ホームページ ・チラシ、ポスター掲示 ・家庭訪問等 (利用者のニーズに応じて適宜提供) ○リハビリ等の専門職との医療連携会を年4回開催 ■インプット(投入金額等) 事業費等 委託料 19,594千円 ■アウトプット(数量等) 実施回数等 【実績】 ○実施回数 558回(拠点数39拠点) 【広報・啓発活動】 ○ポスター掲示: 19箇所 20枚 (公民館、市役所、コミュニティセンター等) ○チラシ配布: 自治会等 26箇所 555枚 ○YouTube動画配信: 3種類 ○地域資源マップに掲載: 年1回更新 ○チラシ配布: 各種団体総会等 5会場 810枚	■成果指標の具体的検証結果 (インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載) 目標である参加者数(延べ6,700人)は達成できなかったが、前年度と比較して196名増加している。参加者の高齢化に伴い、活動場所までの移動が難しい方、また、会場が自治会館の場合、鍵の開閉が困難になり拠点を閉鎖せざるを得なくなった等の声もあることから、参加が難しい方向けに自宅で行える元笑気体操等の動画配信を使って、介護予防活動の支援に務めた。	■検証結果を受けての具体的対応 今後についても、目標参加者数を達成できるよう、地域の関係者(民生児童委員、福祉委員、自治会長等)に周知するとともに、各種団体の総会等において引き続き周知を行っていく。 また、教室の実施内容をリハビリ職などの専門職との医療連携会において協議し、より効果的かつ参加者の興味が増し各家庭でも実施可能な介護予防内容となるよう工夫していく。 ■評価 現状維持

※KPI … 重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。